

5人が
登壇

一般質問

一般質問とは、村の事務全般にわたる執行状況や将来に対する方針等について、村執行部の考えをたずねるものです。質問・答弁の内容は要約してあります。

阿部 一雄 議員



質問 知事と市町村長と地域の意見交換について、村長はどのような要望を説明するのか。関心あるのは、上毛大橋からの延伸道はどのように進んでいるのか。
村長 我々のほうは今一番の関心事は、高浜、バイパスを早く開通させて下さいということ。吉岡まで

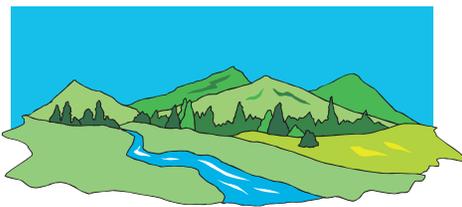
平成27年と、渋川土木事務所から話しも伺っております。上毛大橋からの延伸道路については、調査費をつけて新庁舎の上の信号まで調査をしたところです。幹線の問題も含め、7月9日に要望の確約をとる為懇談会に臨みたいと考えております。

温泉の掘削について

質問 現状の進捗状況は、今後の計画は、利用時期はいつか。

基地・財政課長

21年9月末日まで工期を延長。1000m掘り終わり、毎分150リットル出ている。今後温度・泉質を計り、県の温泉審議の検討結果9月。その後、利用です。



田畑の遊休農地の活用方法について

質問 国会で審議されている農地制度を改める法案があり、村としては約30ヘクタールの農地の見直しの方向はあるのか。

産業振興課長

農業委員会では平成21年度の目標及びその達成に向けた活動計画を策定し、改善指導を行う予定。貸付希望者には農地銀行に登録し、貸し手、借り手の意向等の情報収集及び提供を強化し、借り手や新規参入者への遊休農地の紹介、あっせん等による利用集積を図り推進体制の整備として昨年設立した。担い手育成総合支援協議会を軸に認定農業者等連絡協議会や受託者等組合と協議し再生利用を検討していきます。



広域負担金はなぜ発生したのか

質問 平成の合併で新渋川市が誕生した平成18年度から各事業での関係市町村負担金分賦割合が見直され、多額の均等割負担金が榛東・吉岡両町村で発生したが、誰が見直し案を提言し、改正の根拠は何で有ったのか。

村長 私の方から発言した。必要の無いものはどこかで切る決断を、と言うことで事業の見直し発言をした。

質問 事業の見直しは当然予算(金)が伴うが、村民の為に成るのか、或いは村民の不利益に成るのかと言うことを前もって精査したのか。

村長 数字も出して望ん

だ。その後均等割の問題が出たりなんかして、8から3になるとか…。本当にそれは理解というか…。

質問 今回の見直し案は村長が出したと言う事だが、両町村から先に決定した分割割合の再見直し案の要望を、再協議して全会一致で決まったと報告されているが、再協議した改定案は何処が改善されたのか。

村長 1月31日の理事会に於いて、私が勘違いしていた事を謝らなければ成らない。均等割りにについては、6%・8%・10%と言う話の中で、6%を5年間でやる、そして8を3で割るんだと言うことだった。それではこのことについては一切飲めないという反対をした。

負担増の金額は

質問 村長自ら発言した事によって、ここ数年消防救急事業で、約2,000万。一般経費から公債事業までが約2,000万、2,400万の負担増に成っている。村民が現実として不利益を受けているが、自身の気持ちは。

村長 事業の見直しということが増に成ったとすれば、何もしなければ良かったと思う。見直しは当たり前だと考えて発言をした。



今後の対応は

質問 24年以降負担金は今までの倍近くに増えるが、その対応は。又、話し合いの中ではもう少し自分の目線を下げて、広域の管理者や議会議員、職員に接し議論を真摯にした方が施策の失敗は免れると思う。特に広域問題については、村の管理職や議員に相談し、案件を作り上げ会議に臨んで欲しいと思うが。

村長 これについては吉岡と一緒に成って、最後まで取り組んでいきたい。力を貸してほしい。



新型インフルエンザ対策

質問 WHOがフェーズ6の世界的大流行を宣言し、国内感染者は605人を数えている。相談窓口への問い合わせ件数は。

健康・保険課長 県内全体では5,375件で、村内からの問い合わせは不明。

村への問い合わせは3件。質問 発症して、重症化が心配される。妊婦及び喘息や糖尿病患者対策は。

健康・保険課長 渋川保健福祉事務所に指示をおおぐ。医療機関は、渋川総合病院・西群馬病院等。

質問 中学校の修学旅行が延期になった経緯は。教育委員会事務局 県の通知。村、教育委員会と中



学校で協議し、9月に延期。
質問 榛東村での対策の取り組みについて。

健康・保険課長

村長を本部長に対策本部を設置し、全職員を配置した。マスク、消毒液等の手配。5月連休中の相談窓口を開設し、毎日にチラシを2回配布。

質問 高齢者等の生活弱者に対する対応は。

健康・保険課長 各区の民生委員さんに状況把握と、区長会や災害ボランティア等の連携強化で対応する。

子育て・長寿支援課長

生活弱者の非課税世帯に、備蓄用の食料やマスク等給付する補正予算を計上した。

質問 村内で発生した場合に重要視している対策は。

村長 迅速に情報収集や医療の対応ができるよう役場全職員の勉強会等で、村民に不安を与えない体制を。区長・民生委員・消防等のボランティアにお願ひし、地域防災を立ち上げ、備品備蓄をし、新型インフルエンザに限らず、災害に役立つよう願ひする。

南 千晴 議員



村民の声を反映し旧役場庁舎跡地の有効活用を

質問 旧役場庁舎跡地利用に関する進行状況は。

総務課長 隣接区の住民や学校関係者等28名の構成の榛東村役場跡地利用計画審議会を設置し、審議している。その中では新たな図書館整備や学童保育所、当面的間は更地として駐車場利用などの意見が出ている。
質問 村民誰もが使える図書館や学童の状況、中央公民館との兼ね合い等も踏まえ今後もしっかりと計画を立てて進めていただきたい。また「静かに勉強できる自習室がほしい」などの

が図れるよう検討してもらいたいと考えている。

榛東村在宅ねたきり老人等介護慰労金の拡大を

質問 特別養護老人ホームの待機者は全国で約38万人といわれている。受け皿の施設数不足や家庭での受け入れは仕事と介護の両立が難しく、多くの労働者が介護のために離転職しているのも現状である。そんな

中在宅で介護されているご家族の労をねぎらうためにも慰労金を手厚くできないか。

村長 仕事を辞め収入も減ることなども考え、この慰労金の近隣の状況を調べさせてもらいたい。

雇用支援など若者達に投資を

質問 現代の若者を取り巻く環境は従前と比べて大きく変化し、雇用環境をとつ

ても非正規雇用の拡大や不況による派遣切りなど将来に不安を抱いてしまう。若者が社会参加や就業が出来るような支援も必要だと思うが、新たに若者の雇用支援等を行う考えはないか。
村長 村としても若者にハローワークや就職面接会または県などの事業を積極的にPRしながら対応していきたい。





デマンド（予約）方式バスの試行運行がいよいよ開始に

質問 地域の足を守る生活交通の現状と施策はどうなっているのか。
基地・財政課長 村内では運行のバス路線は主に、県道など幹線道路となっており、運行本数も少ないこと



用語の解説

デマンドバス→利用者の希望に合わせて運行するバスのこと

とで村民利用率は10%にとどまっている。そこで村では、公共交通等調査検討委員会を立ち上げ、デマンド（予約）方式バスの無料試行運転を実施する。9月、10月、11月の3ヶ月間を予定し（詳しくは各戸配布のチラシや広報しんとうを参照）12月に最終結論を出す。

元気高齢者支援策を充実

質問 時刻の変更についてバス会社と交渉できないか。
基地・財政課長 ダイヤ改正については、要望があれば可能だが、利用人数が懸念。

福祉タクシー初乗り運賃の助成は検討委員会 で結論を出す

質問 障害者や一人暮らし高齢者の足対策として、福祉タクシーの初乗り運賃を補助する考えはないか。
村長 公共交通等調査検討委員会を中心に検討して結論を出したい。



「ハエ」問題の対策として補助金制度復活なるか

質問 毎年くり返される「ハエ」問題解決のために、必要な助成を行うべきだと思いが。
村長 経営者自身の意識向上の啓発と、村や県の指導をひき続き行う。又薬剤等への助成については、再検討が必要。

南小通学路の横断歩道に押しボタン式信号機間もなく設置許可に

質問 高校生が安心して自転車通学できるようサイクリングロードの整備を県に要望すること。又、通学路の安全対策では、どう進んだか。
村長 自転車通学路の事故防止の為に何が良いか研究して今後やる。南小通学路の横断歩道に押しボタン式信号機設置は2・3ヶ月の間には公安委員会の許可がおりる予定である。

論を出したい。

研修レポート

北千歳駐屯地にて

6月7日に行われる駐屯地まつりの予行練習を見させて頂いた。観閲行進の後、模擬戦では何10台という戦車がものすごいスピードで地響きをあげて往來した。視界が見えなくなる程とは大き過ぎてあるが演習場の広さ、戦車の数、一台いくらかないと考えてしまった。アナウンサー（式典）の放送で流れた「敵」とは、「日本を守る」とは。12旅団の地元の私達は永遠のテーマだろう。



陸上自衛隊第7師団 第71戦車隊